



# ふじ美が原

富士見中学校

特集：始業式



合唱部と役員による校歌合唱(入学式)

**「結果が特別なことであつたとしても、それを支えているのは、普段の日、常にある、その一つ一つの積み重ねにある」**

二年生のH・Mさん、三年生のN・さん、二人ともそれぞれ二年生・三年生に進級しての自分なりの思いを述べてくれました。きつと、他の皆さん一人ひとりも、新年度に当たり、どのような一年にするのか、思いを新たにしていることと思います。

さて、私からは、一つの言葉を紹介したいと思います。

それは、イチロー選手の言葉です。先月末に、現役を引退されることを発表しました。ニュースにもなったので、野球にあまり興味がないという人も知っているかもしれませんね。

イチロー選手は数々の言葉を残していますが、今日私が皆さんに紹介したのは次の言葉です。ひよつとしたら知っている人もいるかもしれませんが、「特別なことをするために特別なことをする」

イチロー選手は、特別な結果を残した選手です。私もそれほど詳しいわけではありませんが、例えば、メジャーリーグでの一シーズン最多安打記録保持者(二六二安打)であつたり、プロ野球における通算安打世界記録保持者(通算四二五七安打)でギネス世界記録に認定されていたりします。

その特別な結果を残したイチロー選手が、「特別なことをしたわけではない、普段通りの当たり前のことをしました」と言っています。

もちろん、イチロー選手の言う「当たり前」、例えば練習の内容であつたり、普段の生活の仕方であつたり、他の人から見ればす

に「当たり前ではない」という見方もあるでしょう。

ですが、ここで大切なことは、結果が特別なことであつたとしても、それを支えているのは、普段の日常にある、その一つ一つの積み重ねにある、ということなのだと思います。日常の中で、自分にできることを積み重ねていったら、結果として、それが特別なことになった、ということなのだと思います。

これは何事も、スポーツの世界に限ったことではないということに、皆さんも気づくと思います。

例えばある人が、「思いやりのある優しい人になりたい」と願っていたとします。素晴らしい願いです。この願ひに向かつて進んでいけば、自分も、周りの人も幸せになることでしょう。

さてこの人が「優しい人になりたい」と思って何をするか、人から注目される何か特別なことを思いつく、ということもあるかもしれません。こうもした願ひを持つ人は、きつとまず、自分の身の回りにいる人に親切にすることから始めるでしょう。困っていたら手伝ってあげるとか、元気がなさそうな人に声をかけるとか、そうした日常のことを、その人にとっては当たり前のことをするのは、それだけかと。

そうした一つ一つの、それだけをとってみれば小さくて些細な事の積み重ねが、その人の心を豊かにし、他の人の悲しみを自分の悲しみのように考えられる、強くて優しい人になっていくのだと思います。そして、自分自身も他の人も幸せにしていく人になっていくのではないかと思います。

皆さん一人ひとりには可能性が異なります。今はこれだとハッキリしていません。やがて大きく育っていく可能性の芽をもっています。今この時点でまだできていないことがあつたとして

も、そのことは、将来もできないということを意味してはいません。だから、自分自身の可能性を否定する必要は全く無いし、同じように、他の人の可能性を否定する必要もありません。

大切なことは、こうなりたい、という目標、これは、人によって、ハッキリしている場合もあるし、抽象的だったりボンヤリしていたりする場合もあるかもしれない。そうした目標をもつたら、「今、自分にできること」「頑張ればできそうなこと」をやっていく、ということだと思います。その積み重ねが、皆さん一人ひとりを、目標としているその場所や、こうなりたいと願ひする姿に、近づけていくてくれるはずですよ。

自分と他の人の可能性を大切に、日常の中の一つ一つを積み重ねていきましょう。

皆さんが大切に行っている、富士見中学校の三本柱、「挨拶、清掃、合唱」。

これも、皆さんにとっては「当たり前」のものとして取り組んでいるのだと想像してはいますが、実はその毎日の取組が、皆さんを優しく、賢く、強い人たちにしているのだと思います。

今日の午後、新1年生が入学してきます。富士見中の、この取り組みの高ばらしさを、日々の積み重ねが人を高い所へ連れて行ってくれるというこの取り組みのすごさを、ぜひ、後輩となる一年生にも、みなさんの姿をもって示してあげてください。それは一年生を幸せにし、先輩たちである皆さんも幸せにします。

では、最後に一つだけお願いをしておきたいと思ひます。それは、困ったことや悲しいこと、悩みがあつたら、誰でもいいので、伝えてほしいということですよ。毎日を生活していると、うまくいくことばかりではなく、思い通

りにいかなかったり、自分の思ってもみないようなことが起きたりと、いろいろなことがあると思います。

そういうとき、一人で抱え込まずに、誰かに相談してほしいと思います。すぐに解決はできなくても、人に話すだけで気持ち楽になるということもあります。

友達や家族に話すことももちろんですし、この富士見中の先生方にも話してください。私も含め、この富士見中学校のすべての先生たちで、皆さんを支えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

それでは、この一学期、日々を大切に、共に頑張っていきましょう。以上で私からの話を終わります。

### 二年生の抱負 反応を大事に、仲間と切磋琢磨して、勉強や生徒会を頑張りたい

二年三部 H・M

僕は二年生への目標を考えるにあたって、去年の一年生の時のことを思い浮かべて考えました。そして、その中から次の三つのことを目標に立てて頑張っていきたいと思っています。

一つ目は、「反応」です。一年生の時に少し先生や友達が話してくれているのに、反応がでない時がありました。後からよく考えてみると、とても失礼なことをしてしまったと反省しました。授業で先生が問いかけてくださったのに、それに反応しないと、授業が進まなかったり、その場の全員の気分が悪くなってしまうたりするので、これからはしっかりと「反応」を大切にしていきたいです。

二つ目は「勉強」です。明らかに小学校と全然違いました。一段と難しく

なりました。僕は昔から勉強ほど嫌いなものはありませんでした。でも中学生になって変わりました。なぜなら先生たちが優しく分かりやすく、でも時に厳しく最後まで教えてくださり、今は勉強が分かるようになってきました。でも油断して怠けると今までの苦労が水の泡になってしまっているので、気をつけていきたいです。ましてや二年生になってより難しくなると思うので、みんなと切磋琢磨して頑張っていきたいです。

三つ目は「生徒会」です。二年生は今まで先輩方から学んだことを生かし、しっかりと三年生や学校を支える立場です。なので生徒総会の時の発言や各企画への参加を積極的にに行い、築きあげていきたいです。僕は、これらのことを目標に立て、励んでいきたいです。



### 三年生の抱負 今まで見た先輩の姿、先輩から学んだことを生かし、学習と生徒会で姿を示したい

三年一部 N・I

みなさんは、昨年度卒業していった三年生の姿をどのように感じていましたか？ 私は、今でもあの三年生を送る会で先輩方が披露してくれた合唱や文化祭などで先頭にたつてみんなを楽

しませようとしてくれた姿がとても心に残っています。そして、私は、これまでに二度、三年生の姿を見てきました。いずれもそのときの三年生の姿は、いつも「すごいな」「あこがれるな」と思わせてくれる姿ばかりでした。

さて、今日から私は、中学三年生になります。今、私もあこがれられる先輩になれるかと思うと正直、自信がありません。だから、私は、この一学期「自信をもって富士見中の三年生」と言えるように、過去の三年生と同じようにになれるようにと思い、努力したいことがいくつもあります。

ひとつ目は、学習です。授業への取り組みや家庭学習の充実を図り、高い学力を身に付けたいと考えます。私は、毎日の学習をおろそかにしてしまふことが今までに多くありました。また、授業で「わかった」からいいやと思っっていることがあっても、実際にテストを受けてみると「できていない」「自分がいました。私は、「わかることとできることは違うんだ」ということに気がつきました。そこで、授業では自分の考えを発言したり、みんなの考えを聞いたりがたいながら積極的に授業に取り組みたいと思っています。そして、わかっていくようにわかっていないこともあるのです。家庭学習では、「今日、学習したことはできるようにする」など目標をもって取り組み、できる自分を増やしたいと思っています。

二つ目は、生徒会です。私は役員ではないですが、今までの先輩方が築き上げてくれた伝統を引き継ぎよりよい生徒会をつくれるよう役員の人たちを支えながら取り組んでいきたいと思っています。

私の中には、誰かがやってくれだろと思う自分もいました。清掃やあいさつなどいろいろな活動に対して三

年生としての責任が姿となってにじみ出ているように努力したいと思っています。私は、これらに対して強い意識をもって取り組みたいと思います。なぜなら、常に上を見て目標に向かって頑張っている人には魅力があります。どんな目標でも有言実行すれば一緒に付いていこうとする人も出てくると思います。そんな人を応援したり期待したりする人も現れると思います。そんなことを昨年度卒業した先輩の姿から学びました。何よりも、一生懸命目標に向かって努力することはカッコイイことだと思います。私は、いままでの先輩たちの前向きな姿と同じようになれるように一学期、努力していきたいと思います。

### クラス発表



富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六五四番地

TEL 0266-62-2009

FAX 0266-62-7409

担当 油井 彰